

●経理上手くんα DX Version:11.902

●経理上手くんαクラウド DX・経理上手くんαクラウド SE DX Version:11.902

当プログラムは、マイクロソフト社のサポート対応終了に伴い、Windows XP・Vista・7 搭載機へのインストールは不可となっています。

- ◆ Atlas シリーズのバージョンアップに伴う対応を行いました。
- ◆ その他の改良、修正を行いました。

※詳細は、次ページからの“**財務処理 d b (VERSION:11.902) の変更点**”を参照してください。

❗注意

- 他のICSシステムとマスターのやり取りを行われる場合は、他のICSシステム側も当改正対応プログラムのインストールを行い、バージョンを統一してください。

財務処理 d b (VERSION:11.902) の変更点

改良

I. 登録・入力

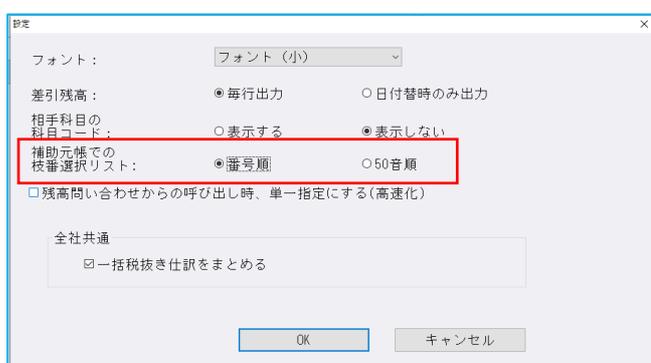
1) 仕訳入力

- ①仕訳入力の [F7 定型伝票] で、定型仕訳登録の改良に伴う対応を行いました。
- ②伝票入力タブで入力中、「F11 伝票登録」を押す前に「F8 仕訳検索」にて伝票種別のいずれかにチェックを付けて検索した場合、未登録の伝票が破棄されることの注意メッセージを表示するようにしました。
“「仕訳登録」が行われていない伝票があります。伝票入力に戻りますか？いいえの場合、その伝票は破棄されます。”



2) 元帳検索

- ①補助元帳のとき、枝番を 50 音順に表示できるよう対応しました。
仕訳修正タブの [F6 設定] に「補助元帳での枝番選択リスト：番号順/50 音順」を追加しました。



3) 残高問い合わせ

- ① [比較残高・比較貸借・比較損益タブ] 「残高・発生の無い枝番を出力する」OFF 設定時に、部門枝番の前期、当期の金額がともに 0 円の場合は非表示にするように対応しました。

4) 科目設定・残高登録

- ① 枝番残高登録タブ内に「枝番複写」ボタンを新規追加しました。
1科目に登録済みの枝番を他の1科目に複写できるように対応しています。

複写元になる科目を選択して「枝番複写」ボタンを押下します。



複写先の部門・科目を選択します。(複写元も変更可能)

複写元から複写する枝番を選択します。(Shift+範囲、Ctrl で個別指定可能)

「⇒」ボタン押下で複写先へ移動し、「複写開始」を押下します。



- ・「枝番消費税区分を複写する」が ON の場合は消費税区分も複写します。
- ・複写先に重複する枝番コードの枝番が登録されている場合はマークがつき、「複写先枝番を確認する」ボタンを押下することで複写先の枝番登録状況が確認できます。

複写先の枝番は、以下のように登録済みです。

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
0001		いちばん	イ	課税		8.0%
0002		にばん	ニ	課税		10%
0003		さんばん	サン	課税		10%

閉じる

※「複写先枝番を確認する」画面

・複写先に重複する枝番がある場合確認メッセージを表示します。

上書き確認

 複写元と同じ枝番[0001]が既に存在します。
上書きで複写してもよろしいですか？

枝番	摘要	枝番名称	カナ	課税区分	仕入区分	税率
複写前						
0001		いちばん	イ	課税		8.0%
↓						
複写後						
0001		1 1 月分	イカ	課税		10%

はい(Y) スキップ(S) キャンセル

同じ処理を残り2個の枝番に適用(D)

「はい(Y)」：上書きで複写

「スキップ(S)」：当枝番を複写しないで次へ

「キャンセル」：複写処理を中止

複写完了

スキップしたものがあればスキップ * 件

科目設定

 枝番の複写が終了しました。
新規登録 2件 上書き登録 3件

OK

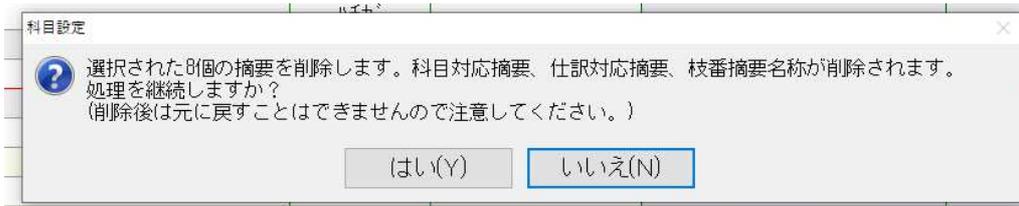
②摘要辞書登録で範囲を指定して一括削除できるように対応しました。

Shift+範囲、Ctrl で個別指定によって複数行を選択後、削除ボタン押下で複数行一括削除できるように対応しました。

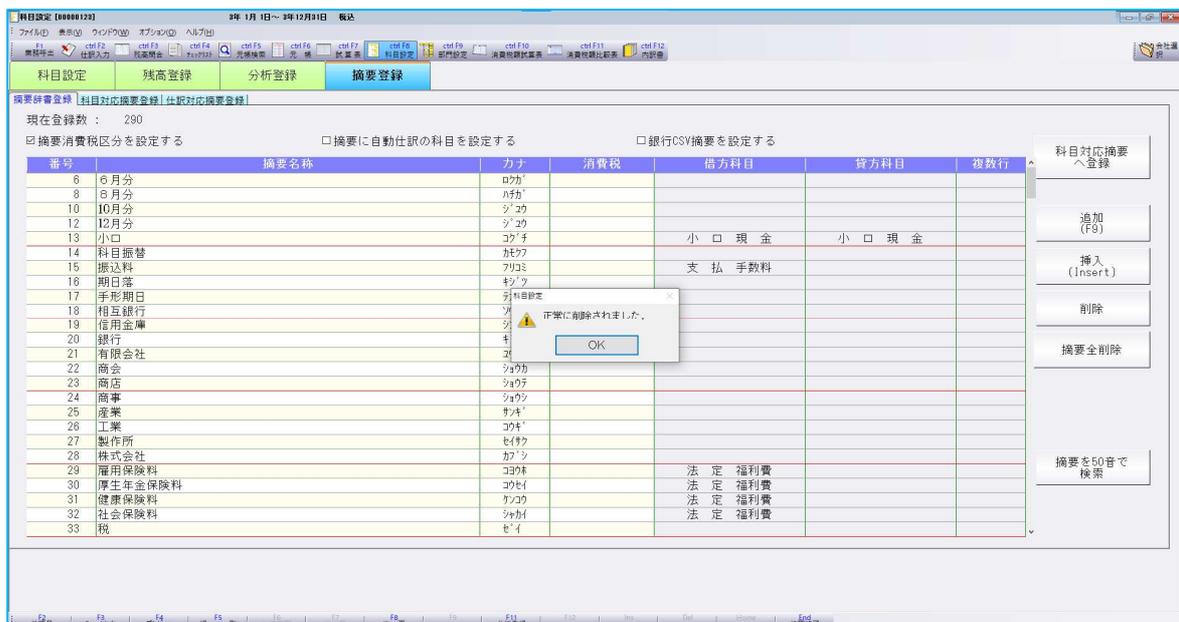
Shift+範囲、または Ctrl で個別指定。その後「削除」ボタンを押下します。



下記のメッセージボックスを表示します。(初期値は「いいえ(N)」)。
「はい(Y)」押下で削除開始します。



「OK」で押下で削除が完了します。



③摘要辞書／摘要仕訳編集

・枝番欄で、0003と4桁で入力する必要があったのを1桁で入力できるようにしました。

- ④原則課税：個別対応の場合は、消費税額比較表の「他の課税方式と比較する」の設定にかかわらず、棚卸科目の仕入区分を変更できないようにしました。

科目名称変更	科目設定・変更	科目順変更	出力用特殊名称						
科目消費税込区分を設定する									
入力区分一括変更									
科目検索									
入力表示科目の設定									
番号	属性	科目名称	カナ	コード	摘要	課税区分	仕入区分	税率	入力区分
193		期首商品棚卸高	キョウシウ	0611		---	---	---	---
194		期首製品棚卸高	キョウセイ化	0612		---	---	---	---
195	仕入	仕入高	シルトカ	0550	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
196	仕入	仕入高	シルトカ	0551	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
197	仕入	仕入高	シルトカ	0552	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
198	仕入	仕入高	シルトカ	0553	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
199	仕入	仕入高	シルトカ	0554	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
200	仕入	仕入高	シルトカ	0555	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
201	仕入	仕入高	シルトカ	0556	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
202	仕入	仕入高	シルトカ	0557	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
203	仕入	仕入高	シルトカ	0558	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
204	仕入	仕入高	シルトカ	0559	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
205	仕返	仕入高	シルトカ	0615	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
206	仕返	仕入高	シルトカ	0616	24	課税	基本設定	10.0	標準(内)
207	経費	期首商品棚卸高	キョウシウ	0617		---	---	---	---
208	経費	期首製品棚卸高	キョウセイ化	0618		---	---	---	---
209	経費	期首商品棚卸高	キョウセイ化	0711	6	不課税	---	---	---

5) 部門設定 (Pro IIのみ)

- ①配賦の明細ごとに加えて、合算して共通費配賦額として出力選択できるように、部門設定の通常配賦タブの基本配賦情報で、「明細のみ」「合計のみ」「明細+合計」の選択が行えるように改良しました。

※共通部門が選択されていない場合や仕入配賦と同様に当期以外を選択したときは、選択が行えないように制御しています。

下記業務で部門設定の選択に従って出力する項目を切り替えます。

- 出力：
 - 部門別損益計算書・貸借対照表
 - 比較・推移表
 - 試算表・分析表
 - 予算実績対比・推移表
- 表形式：
 - 表形式部門残高作成

○出力例

- ・「明細のみ」を選択している場合（既存の出力）

(経常利益)	9,485,817	
売上配賦額 40%	△105,454	
粗利益配賦額 30%	△79,090	
人件費配賦額 20%	△58,000	
任意配賦額 10%	△17,400	
【配賦後経常利益】	9,225,873	
(税引前当期純利益)	9,225,873	

- ・「合計のみ」を選択している場合

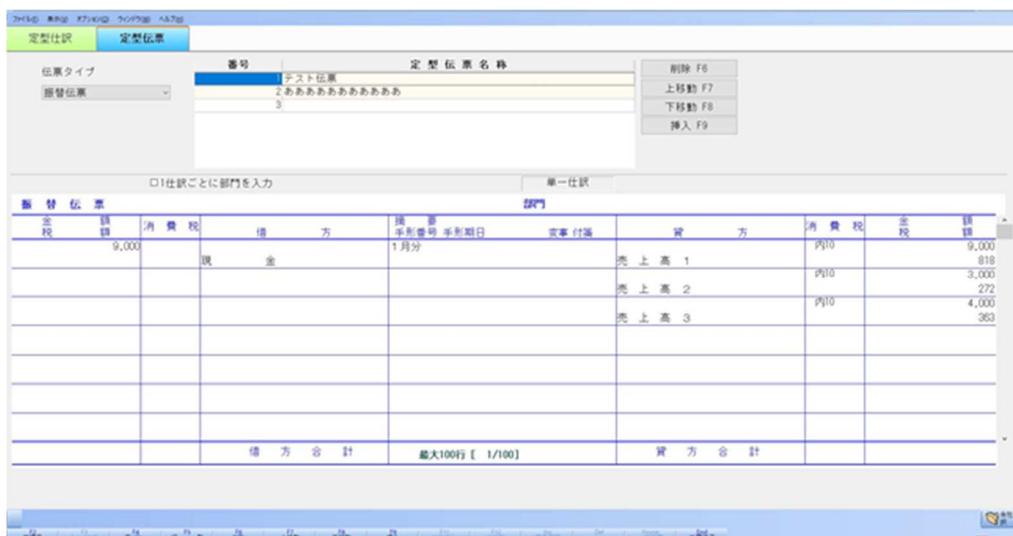
(経常利益)	9,485,817	
共通費配賦額	△259,944	
【配賦後経常利益】	9,225,873	
(税引前当期純利益)	9,225,873	

- ・「明細+合計」を選択している場合

(経常利益)	9,485,817	
売上配賦額 40%	△105,454	
粗利益配賦額 30%	△79,090	
人件費配賦額 20%	△58,000	
任意配賦額 10%	△17,400	
【共通費配賦額】	△259,944	
(税引前当期純利益)	9,225,873	

6) 定型仕訳登録

- ①定型仕訳登録画面で定型伝票の編集処理・登録済みの定型伝票の一覧の並び替えに対応しました。



○定型伝票編集画面の機能について

定型伝票のタイプを選択（振替伝票・入金伝票・出金伝票）

定型伝票名称を入力して、作成したい定型伝票名を入力し、その定型伝票の内容を登録します。

- 登録した定型伝票の順番を入れ替える機能を追加しました。
→ 定型伝票名称リストで、該当の定型伝票を 上移動[F7]・下移動[F8]することで可能です。

【Home 一括変更】

税率の一括変更を行う業務です。

II. 出力 (DX・Pro IIのみ)

1) 試算表・分析表

- ①枝番表示のリストで、スペースキーでの ON/OFF に対応。
- ②配賦選択：通常配賦のときに、部門設定の「共通費配賦の出力」設定に対応しました。

2) 比較・推移表

- ①配賦選択：通常配賦のときに、部門設定の「共通費配賦の出力」設定に対応しました。
- ②通常配賦での出力時、(通常配賦科目と当期総製造費用)を網掛けにするように対応しました。
- ③通常配賦での出力時、特定の通常配賦科目の行を出力しないように対応しました。

3) 予算実績対比・推移表 (Pro IIのみ)

- ①配賦選択：通常配賦のときに、部門設定の「共通費配賦の出力」設定に対応しました。

4) 部門別損益計算書・貸借対照表 (Pro IIのみ)

- ①F6 項目登録の枝番表示のリストで、スペースキーでの ON/OFF に対応しました。
- ②共通費科目別配賦記帳表では、「枝番表示を行う」を選択不可にするように対応しました。
部門枝番の配賦額は、現状出力される帳票がないため集計されておらず、枝番表示を行うとしても、共通部門でしか金額を出力できないことや、配賦額を確認すべき帳票であることから、「4.共通費科目別配賦記帳表」で「枝番表示を行う」を選択できないようにしました。
- ③配賦選択：通常配賦のときに、部門設定の「共通費配賦の出力」設定に対応しました。

5) 比較経営分析指数表 (Pro IIのみ)

- ①中小企業実態基本調査 令和3年確報 (令和02年度決算実績) に対応しました。
「変動損益計算書」「比較経営分析指数表」「経営分析報告書」に“標準値”として取り込み可能です。

科目設定・残高登録の分析登録の「標準率・分析指数」「比較経営分析表（経営指数）」に“標準値”として取り込み可能です。

経営指標、原価指標の取得

実績年: 令和02年度決算実績

業種: 全業種

種別: 合計

区分: []

母集団企業数: 1,729,178社

OK キャンセル

※中小企業庁:『中小企業実態基本調査』より算出

Ⅲ. グラフ (Pro IIのみ)

1) 売上関係図表

①目標値を部門ごとに設定できるようにしました。

設定画面 表示画面

既定(税込) 税 抜

部 門: 出力パターン1 詳細

4 5 6 7 8 9 10 11 12 1 2 3 決

02年 04月 30日

出力期: 比較期数: 2期比較 目標: あり 差異: 金額

目標設定: 売上高関係図表 **部門別目標設定**

月 当季月次目標 当季累計目標

4月	0	0
5月	0	0
6月	0	0
7月	0	0
8月	0	0
9月	0	0
10月	0	0
11月	0	0
12月	0	0
1月	0	0
2月	0	0
3月	0	0

詳細設定: 部門数値計発生, グラフ種, 最大値, 任意数値, 最小値, 任意数値, 単 位, 分 割, 分 割 数, グラフ表

【部門別目標設定】ボタンを追加しました。

部門選択時に選択可能になります。部門の出力パターンをあらかじめ設定してください。
 帳票の種類毎に、出力パターンで設定した部門別に目標値を入力します。
 部門名の表示は、オプション：出力設定の「部門の出力方法」の設定により変わります。

部門コードのみ／部門名称のみ／部門コード+部門名称

部門別目標設定

売上高関係図表 全体目標へ転送 横列複写 縦列複写 OK[End] キャンセル[Esc]

月	総合計	部門1	部門2	部門3	部門4	部門5
4月	0	0	0	0	0	0
5月	0	0	0	0	0	0
6月	0	0	0	0	0	0
7月	0	0	0	0	0	0
8月	0	0	0	0	0	0
9月	0	0	0	0	0	0
10月	0	0	0	0	0	0
11月	0	0	0	0	0	0
12月	0	0	0	0	0	0
1月	0	0	0	0	0	0
2月	0	0	0	0	0	0
3月	0	0	0	0	0	0
累計	0	0	0	0	0	0

[横列複写]

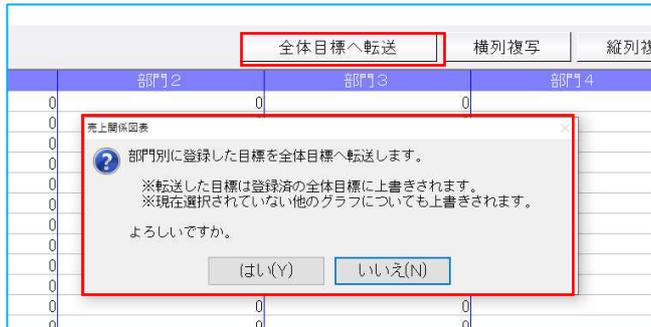
カーソルが止まっている位置から右の部門の同月欄に複写します。

[縦列複写]

カーソルが止まっている位置から下の欄に複写します。

[全体目標へ転送]

部門別に登録した目標を全体目標へ転送します。



※従前から使用しているマスターについて

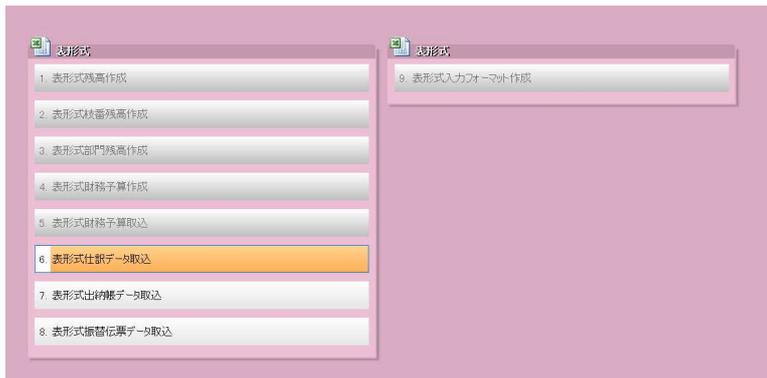
従前プロでは部門別で出力した際の目標値は全体と同じ値が出力されていましたが、部門別で出力する場合は、部門別に目標値を必須としています。

部門別の目標値を入力していない場合は、部門別の目標値は0で出力します。

IV. 表形式 (Pro IIのみ)

- 1) 表形式仕訳データ取込
- 2) 表形式出納帳データ取込
- 3) 表形式振替伝票データ取込

① ユーザー登録業務「権限詳細」において財務d b用の設定を行う際、「仕訳入力可（他者入力閲覧・訂正可／不可）」がONの時、財務・非営利の表形式内のデータ取込3業務を起動できるように変更しました。



② 「枝番カナ」「仕訳区分」の取り込みに対応しました。

「枝番カナ」の取込

- ・半角カナ 6文字まで 7文字以上はカットします。濁点・半濁点も1文字 アイヨウダ→アイヨウ
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っている状態でデータ取込を行った場合、枝番カナが登録済みであるかどうかにかかわらずカナを上書きします。
- ・「登録済みの枝番摘要を上書きする」にチェックが入っていない状態でデータ取込を行った場合、既存の枝番カナは上書きせず、新規の枝番カナのみ登録します。

「仕訳区分」の取込

- ・仕訳に対して設定することのできない仕訳区分が入力されている場合は仕訳区分なしとして取り込みます。
また、仕訳区分表に未登録のコードが入力されている場合も仕訳区分なしとして取り込みます。

- ③ d b 振替伝票形式で、摘要項目に半角スペースがある場合、半角スペースを保持して取込むように対応しました。
- ④ 文字列内に「,」があった場合、「”」前で文字列が切れるため、文字列が切れないように対応しました。
- ⑤ 枝番摘要・摘要の文字列に「”」があった場合、「””」として取り込まれるため、「”」で取り込まれるよう対応しました。
- ⑥ 日付に半角スペースがある場合取込エラーとなるので、半角スペースをカットするように対応しました。

4) 表形式部門残高作成

- ① 配賦選択：通常配賦のときに、部門設定の「共通費配賦の出力」設定に対応しました。

5) 表形式入力フォーマット作成

- ① d b 形式の表形式入力フォーマットに「枝番カナ」の項目を追加し、表形式仕訳データ取込・表形式出納帳データ取込・表形式振替伝票データ取込の3業務で取り込めるように対応しました。
半角が6文字で入力してください。(濁点・半濁点も1文字 ジ (2文字))
- ② d b 形式の表形式入力フォーマットに「仕訳区分」の項目を追加し、表形式仕訳データ取込・表形式出納帳データ取込・表形式振替伝票データ取込の3業務で取り込めるように対応しました。

例) d b 仕訳形式

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	P	Q	R	S	T	U	V	W	X
1	法人																							
2	db仕訳日記帳																							
3	70101 日本ICIS株式会社																							
4	自 2年 4月 至 3年 3月 月分																							
5	日付	決修	伝票番号	借方部門	借方工事	借方コード	借方名称	借方枝番	借方枝番	借方枝番	借方部門	借方工事	借方コード	貸方名称	貸方枝番	貸方枝番	貸方枝番	金額	摘要	税区分	対価	仕入区分	売上業種	仕訳区分
6	2.28					101					1. a)株式会社7f			511				30000	輸出売上					14
7	2.28					101							511					20000	非課税輸出売上					5

仕訳区分コード表

コード	仕訳区分
0 または未入力	なし
1	売上
2	貸倒損失
3	貸倒回収
4	輸入仕入
5	非課税輸出売上
6	販売奨励金費用
7	販売奨励金収入
8	売上割引
9	仕入割引
10	棚卸調整加算額
11	棚卸調整減算額
12	特定収入(非営利法人)
13	特定収入外(非営利法人)
14	輸出売上
22	受取利息
23	仕入

25	経費
30	消費税精算
32	特定課税仕入（本体）
33	特定課税仕入返還（本体）
34	特定課税仕入（消費税）
35	特定課税仕入返還（消費税）
36	輸入消費税（国税）
37	輸入消費税（地方税）
38	輸入消費税（国地合算）
39	完成時振替

V. 工事台帳（建設上手くんαPro IIのみ）

- ①工事登録に、工事別管理集計表A・Bに出力される「予定利益」欄の数値を実額入力できるようにしました。

基本情報	予算情報	工種金額情報	入金情報
工事番号	00000001	現在登録数	4
工事名(正式)	現場①		
工事名(略称)	現場①		
施主名			
現場住所			
共通工事区分		共通費配賦	する
発注者			
営業担当者			
現場担当者			
契約日	令和	年月日	着工日 令和 年月日
完成予定日	令和	年月日	完成日 令和 04年01月31日 完成区分 完成
完成工事科目	0511	完成工事高	1
予定利益	550,000		

- ・工事別管理集計表の出力オプションに「工事登録で登録した予定利益で出力する」選択を設けました。

工事別管理集計表（A B 共通） <input checked="" type="checkbox"/> 予算残高を出力する <input checked="" type="checkbox"/> 実行予算額を出力する 予定利益、予定利益率 <input type="checkbox"/> 請負金額 - 実行予算額で出力する <input checked="" type="checkbox"/> 工事登録で登録した予定利益で出力する

- ②未成工事支出金タイプの時、枝番コードに完成原価科目以外のコードを登録できないようにしました。また、帳票出力時に、既に登録済みの工種データに対して完成工事原価科目以外の科目コードが枝番に登録されている工種データがないかチェックを行うようにしました。

- ・ 枝番欄にフォーカスを移動すると、工事原価科目の一覧が表示します。完成工事原価科目以外の科目コードを枝番に登録しようとすると、“完成工事原価科目ではないため使用できません。”の注意メッセージを表示します。

工種番号	工種名称	50音	工種区分	科目	枝番	印刷サイン
1	材料費	サイロ	大計			する
2	労務費	ロウ	大計			する
3	外注費	ガイ	大計			する
4	現場経費	ケン	大計			する
5	共通費配賦	キョウ	大計			する
6	【合計】	カウ	合計			する
7	期首材料	キシュ	明細	0173 未成工事支出金	0611	する
8	材料仕入1(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0621	する
9	材料仕入2(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0622	する
10	材料仕入3(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0623	する
11	材料仕入4(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0624	する
12	材料仕入5(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0625	する
13	材料仕入6(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0626	する
14	材料仕入7(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0627	する
15	材料仕入8(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0628	する
16	材料仕入9(I)	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0629	する
17	副資材仕入1	ソウ	明細	0173 未成工事支出金	0630	する
18	副資材仕入2	ソウ	明細	0173 未成工事支出金	0631	する
19	材料仕入値引	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0632	する
20	材料仕入戻し	サイロ	明細	0173 未成工事支出金	0633	する
21	期末材料	キマツ	明細	0173 未成工事支出金	0634	する
22	【材料費計】	カウ	小計			する
23	賞金手当(I)	シヤウ	明細	0173 未成工事支出金	0641	する
24	労務費1(I)	ロウ	明細	0173 未成工事支出金	0642	する
25	労務費2(I)	ロウ	明細	0173 未成工事支出金	0643	する

完成工事原価の科目コードと未成工事支出金の枝番コードが同一

完成工事原価科目一覧

コード	完成工事原価科目
0611	期首材料
0621	材料仕入1(I)
0622	材料仕入2(I)
0623	材料仕入3(I)
0624	材料仕入4(I)
0625	材料仕入5(I)
0626	材料仕入6(I)
0627	材料仕入7(I)
0628	材料仕入8(I)
0629	材料仕入9(I)
0630	副資材仕入1
0631	副資材仕入2
0632	材料仕入値引
0633	材料仕入戻し
0634	期末材料
0641	賞金手当(I)
0642	労務費1(I)
0643	労務費2(I)

- ③通常タイプでも、科目コード欄にフォーカスを移動すると、工事原価一覧を表示するようにし、完成工事原価科目以外の科目コードを登録しようとすると、“完成工事原価科目ではないため使用できません。”の注意メッセージを表示します。

工種番号	工種名称	50音	工種区分	科目	枝番	印刷サイン
1	材料費		大計			する
2	労務費		大計			する
3	外注費		大計			する
4	現場経費		大計			する
5	共通費配賦		大計			する
6	【合計】		合計			する
7	期首材料		明細	0611 期首材料		する
8	材料仕入1(I)		明細	0621 材料仕入1(I)		する
9	材料仕入2(I)		明細	0622 材料仕入2(I)		する
10	材料仕入3(I)		明細	0623 材料仕入3(I)		する
11	材料仕入4(I)		明細	0624 材料仕入4(I)		する
12	材料仕入5(I)		明細	0625 材料仕入5(I)		する
13	材料仕入6(I)		明細	0626 材料仕入6(I)		する
14	材料仕入7(I)		明細	0627 材料仕入7(I)		する
15	材料仕入8(I)		明細	0628 材料仕入8(I)		する
16	材料仕入9(I)		明細	0629 材料仕入9(I)		する
17	材料仕入値引		明細	0632 材料仕入値引		する
18	材料仕入戻し		明細	0633 材料仕入戻し		する
19	期末材料		明細	0634 期末材料		する
20	【材料費計】		小計			する
21	賞金手当(I)		明細	0641 賞金手当(I)		する
22	労務費1(I)		明細	0642 労務費1(I)		する
23	労務費2(I)		明細	0643 労務費2(I)		する
24	労務費3(I)		明細	0644 労務費3(I)		する
25	労務費4(I)		明細	0645 労務費4(I)		する

※工事原価科目のみ登録可能です。

完成工事原価科目一覧

コード	完成工事原価科目
0611	期首材料
0621	材料仕入1(I)
0622	材料仕入2(I)
0623	材料仕入3(I)
0624	材料仕入4(I)
0625	材料仕入5(I)
0626	材料仕入6(I)
0627	材料仕入7(I)
0628	材料仕入8(I)
0629	材料仕入9(I)
0630	副資材仕入1
0631	副資材仕入2
0632	材料仕入値引
0633	材料仕入戻し
0634	期末材料
0641	賞金手当(I)
0642	労務費1(I)
0643	労務費2(I)

VI. 銀行取込データシステム

1) 銀行CSV取込

- ①資金繰諸口枝番名称を表示するように対応しました。
また、枝番入力を行わないマスターでも諸口枝番が入力できるように対応しました。
仕訳入力の入力設定で「資金繰諸口枝番名称を表示」が ON の場合、名称を表示しますが、OFF の場合には、0002 のようにコード表示とします。
- ②取込指定で「クレジット」「その他」で取り込んだ場合、部門・科目・枝番を「クレジット」「その他」ごとに保存するように対応しました。
- ③部門入力欄でカナ検索できるように対応しました。
入金欄のマイナス、出金欄のマイナスについてそれぞれマイナス金額で転記できるように対応しました。
 - ◎CSV の設定が「入金」のとき
貸借の科目は反対にせず、入金欄に-1000 とマイナス表記に変更します。
 - ◎CSV の設定が「出金」のとき
貸借の科目は反対にせず、出金欄に-1000 とマイナス表記に変更します。
 - ◎CSV の設定が「入出金」のとき
現行と同様とします。プラスは入金、マイナスは出金

修正

I. 導入・更新

※下記修正は建設マスターに関する修正です

1) 翌期更新

- ①完成工事高の複数の税率に前期消費税のあるマスターを更新すると、未収金の判定の際に一部の税率の前期消費税額が加味されない不具合を修正しました。
「完成工事を抹消する」「未収がある工事を残す」で更新した際に、未収がある工事が抹消されるケースがありました。（抹消された場合は恐れ入りますが再登録を行ってください。）
- ②部門コードが 0 の部門を共通部門として使用しているマスターを翌期更新すると、「翌期への更新処理中に、エラーが発生しました。配賦基準合計科目の更新に失敗しました。」となる場合があったのを修正しました。（「部門設定」を修正しています。）

2) 翌期更新

3) 前年度からの更新

- ①建設業（一括税抜き処理）マスターで、工事残高登録の工事原価科目の開始残高に、前期開始残高の消費税が更新されていなかったのを修正しました。
該当される場合は、お手数ですが「前年度からの更新」を行ってください。

II. 登録・入力

1) 仕訳入力

- ①振替伝票で修正時の複合仕訳の表示を「詰めて表示」の場合に、行挿入すると、複合仕訳の摘要が消えたり、行挿入した別の仕訳に表示されたりと摘要が正しく表示されなかったのを修正しました。
- ②特定の期間のマスターにおいて、伝票入力で月指定バーを全月指定しているにもかかわらず、日付の月が変更できなかったのを修正しました。
例：会社登録の基本会社情報は決算期間：3年7月21日～4年6月30日、
締日：20日、入力開始：3年7月21日のマスターで、8月から7月に月が変更できなかった。

- ③「枝番選択を 50 音で表示」のチェックが ON の場合に、同じカナの枝番が複数発生すると、科目設定の枝番残高登録画面と科目選択の並びが違ったのを修正しました。
科目設定の枝番残高登録と同様に、同じカナは枝番順で表示します。
- ④一括修正で消費税仕訳区分を修正前「消費税精算」にし、右側修正後を「仕訳区分 取消」にして修正開始を押すと 8%の仕訳が 10%に変わっていたのを、元の税率を保持するように修正しました。
- ⑤枝番入力設定が 2 桁になっているマスターで、出納帳入力の基本科目の枝番の入力時、「. (ドット) 01」あるいは「. (ドット) 1」と入れても入力できなかったのを修正しました。
- ⑥原票マスターで、仕訳入力時に原票を表示しながら上下矢印で送ると途中で不正終了することがあったのを修正しました。(電帳法対応オプション契約のみ)

2) 元帳検索

- ①Delete キーで仕訳削除すると、仕訳修正ダイアログが出てしまう場合があったのを出ないように修正しました。
仕訳入力の F4 入力設定で「伝票形式入力タイプの表示：表示するをオフ」でかつ [F11 貸借修正] を行っている場合、仕訳修正ダイアログが出ていない状態で Delete 押すと仕訳修正ダイアログが表示されていました。
- ②前月より繰越にフォーカスがあるときは [検索一覧 (Shift+Enter)] ボタンが選択不可のグレースアウトの状態になりますが、一部 OS で、マウスオーバー時などにアクティブに一瞬変わっていたのを修正しました。

3) 残高問い合わせ

- ①F11 発生残高、月別発生残高ダイアログから、日別発生残高ダイアログに切替えて、Excel 出力後、プレビュー表示を行うと月別・日別の発生残高ダイアログがプレビューの上に表示されていたのを修正しました。
- ②四半期決算で決算除外設定を「含む」にしているような場合で、残高タブで、期中 0 円になり、0 円になった月よりも後の月で発生が無い月を単月指定して、推移タブに切り替えるとその科目が表示されなかったのを修正しました。
- ③営業外損益、特別損益科目で仕訳入力し、残高問合せの比較損益画面、又は比較貸借画面を表示後に残高画面に戻すと最後に表示の科目以降の一部又は全部が 2 重で表示される現象を修正しました。
1 科目だけ発生・残高がある大分類または中分類科目が存在する場合、当該分類科目を含む以降の分類科目が所定の操作により重複していました。
- ④残高問合せで F6 条件設定-部門表示方法を科目にして残高タブを見ると、残高発生のあるはずの科目部門の行が表示されなかったのを修正しました。

4) 科目設定・残高登録

- ①新規会社登録・修正・削除の消費税情報タブの、消費税区分集計の枝番を“行わない”でも枝番登録時に消費税区分が反映されるよう修正しました。
下記の事象に関しての対応です。
通信移動のマスター&データ抽出で、枝番残高や枝番名称に差異がないのに【その他送信ファイル】枝番残高の差異にチェックが付くことがありました。
新規会社登録・修正・削除の消費税区分集計の枝番を“行わない”で枝番を作成した際に、科目の消費税区分が枝番に反映されていない状態で作成されており、マスター修復などの処理を行うと区分が反映されるため、その処理を行っているもの行っていないものとで内部的に差異ができていました。

5) 部門設定 (Pro IIのみ)

①科目別配賦において、部門コードが0の部門を共通部門として使用している場合、「設定合計科目比率：科目設定」で科目を選択しても、再度開くと設定が消えていたため修正しました。

※「設定合計科目比率：科目設定」が保存できないため、部門コードが0の部門を共通部門として使用しているマスターを翌期更新すると、「翌期への更新処理中に、エラーが発生しました。配賦基準合計科目の更新に失敗しました。」となる場合があります。

6) 定型仕訳登録

①部門コード欄にカーソルを止めると、部門コードを振っていない貸借科目側にも前後の部門が表示され、部門表示も黒字や青字の表示が混ざる場合があったものを部門表示が正しく表示されるように修正しました。

7) 科目別日別残高表

①R3.7.21~R4.7.20 決算の20日締めマスターで科目日別残高表、月指定が12月(12月20日)までは問題なく表示されるが、1月(1月20日)を指定すると、各科目の繰越は表示されるが、日ごとの発生が全く表示されないものを修正しました。

月指定で1月を選択、その期間がn年12月~n+1年1月のときに発生が表示されなくなっていました。

Ⅲ. 出力 (DX・Pro IIのみ)

1) 総勘定元帳 (経理上手くんaは登録・入力/指定元帳)

①損益勘定元帳の直前の科目の最後の仕訳が金額0円の仕訳の状態では損益勘定元帳を出力すると、それらの元帳の摘要欄に金額0円仕訳の摘要が複製され、借方科目や貸方科目、金額が出力されない状態になっていたのを修正しました。

2) 試算表・分析表

①貸借サインが違う科目の集合で、枝番表示の金額が正しく集計されていなかったのを修正しました。

3) 比較・推移表

①3-7 四半期比較損益計算書

前期が1期目で事業期間が令和1/5/7~令和2/3/31、当期は令和2/4/1~令和3/3/31で当期から四半期に変更。この場合の四半期比較損益計算書の当期が4月の仕訳が5月に、5月の仕訳が6月に四半期の1期目が4~6月ではなく4~5月で集計されていたのを修正しました。

②F6項目登録で「Excel出力で全科目を出力する(自動のみ)」にチェックを付けて、F3Excel出力しても全科目が出力されていなかったのを修正しました。(3-2比較損益推移表以外の全帳票)

4) 部門別損益計算書・貸借対照表 (Pro IIのみ)

①比較部門別損益計算書(累計)、比較部門別貸借対照表(累計)で前年項目の枝番予算が正しく集計されないのを修正しました。

5) 消費税元帳

①伝票番号の出力桁数の設定が反映していなかったのを修正しました。

VI. 工事台帳（建設上手くんαProⅡのみ）

- ①工事原価振替で、科目設定の税率が反映されるように修正しました。
共通費配賦（原価別）の配賦仕訳について、8%軽減及び8%に設定している科目の税率を参照していないことがわかりました。
該当する場合はお手数ですが、再度工事原価振替を行う必要があります。
仕訳の仕訳区分に「完成時振替」8%軽減等を設定している場合は問題ありません。
- ②工種登録のF8:移動ダイアログの表示位置を画面中央になるように修正しました。
- ③詳細設定の内容を更新してから当年度マスターを削除し、再度詳細設定の内容を変更してから初回更新時のみ「データベースに'KJDATA_KT'という名前のオブジェクトが既に存在します」のメッセージで更新がとまる件について、メッセージが表示されないように修正しました。

V. 銀行データ取込システム

1) 銀行 CSV 取込

- ①科目残高に当日残も含めるように対応しました。
同日に午前・午後2回取り込んだような場合に、1回目が反映されていませんでした。
- ②銀行 CSV データ取込で取込処理をした後に摘要登録(Insert)で複合仕訳(銀行・通帳・カード読取用)タブの新規仕訳追加(F6)を押し摘要欄でDeleteすると不正終了していたのを修正しました。
- ③新規登録時、摘要番号が900000までしか入力できなかったのを999999まで入力できるようにしました。
- ④摘要仕訳編集の枝番欄で、0001と4桁で入力する必要があったのを1桁でも入力できるようにしました。

以上